もとぶ議会だより

ハイサイ

第133号
令和5年3月27日
発行

火災予防に心がけましょう

本部町今帰仁村消防団

主な誌面紹介

令和4年12月定例会

●一般質問一覧……2
●一般質問……3-10
●審議案件一覧……11
●編集後記……12

令和4年 12月定例会一般質問議会だより掲載一覧

掲載順	質問者	質問事項
1	崎浜 秀昭 議員	1. クルーズ船開港に向けての進捗状況は? 2. 本町の自殺者の状況と、対策は?
2	松田 大輔 議員	1. 本部町物流センターについて（冷凍冷蔵庫） 2. 本部町学校給食について
3	具志堅 勉 議員	1. 本町の外灯設置状況 2. 高齢者等みまもり支援事業の実施について 3. 本町の不登校の現状について
4	山川　竜 議員	1. 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル調査について 2. 来年の祭りや行事等の積極的な開催について 3. 国立沖縄自然史博物館の誘致について 4. 屋根付きバス停設置について
5	仲程　清 議員	1. 瀬底小学校体育館改修の早期実施について 2. 瀬底一周線道路の危険箇所の改善について 3. もとぶ観光地クリーンアップ事業等について
6	座間味 栄純 議員	1. 町長の所信の中から町内まるごとテーマパーク構想について 2. 持続可能な農業生産基盤の確立について
7	具志堅 正英 議員	1. 旧上本部中学校跡地について 2. 死亡手続きの一元化について
8	仲宗根 須磨子 議員	1. ハブ咬傷被害を拡大させないために

※議会だよりに掲載されている一般質問の内容は、各議員が会議録に基づいて要約したものを掲載しております。

1. クルーズ船開港に向けての進捗状況は？
2. 本町の自殺者の状況と、対策は？

一般質問

崎浜 秀昭 議員

1．クルーズ船開港に向けての進捗状況は？

崎浜議員　クルーズ船開港に向けての進捗状況は。

平良町長　国内クルーズ船が今年の6月に入港し、歓迎セレモニーを盛大に行った。今後の受け入れについては、国内クルーズが来年6月に予定されている。国際クルーズについては現在のところ入港の確定がない。

崎浜議員　岸壁の整備は県が、ターミナルビルはゲンティン香港が行うとなっていたと思いますが。

平良町長　岸壁の整備については、沖縄県が去る11月に整備を完了しています。ターミナルの整備については、県においてゲンティン香港の動向把握に努め、国とも連携を図りながら継続的に交渉に取り組むことになっています。

崎浜議員　２０２０年に県はそのように述べています。その後県に確認を取っていますか。

平良町長　先般、土建部長に直接尋ねました。目下情報の交流はやっていると、ただし、相手側の方がまだ断念するとは言っていないということで、しばらく状況の推移をみるということです。付け加えますが、先般国土交通省に行き議論しました。この状況がずっと続くのであれば、経済活動の契機を失うため、国のほうとしては、当初の事業スキームについて、再検討が必要な時期に入っていませんかと、私のほうから提起しています。

崎浜議員　完成が長引いたときどうしますか。

企画商工観光課長　現在もクルーズ船は寄港しています。現在は那覇港に着いて入港手続きをやってから、本部港につくようになっています。

崎浜議員　クルーズ船受け入れ八重岳協議会では、石垣市、県、国、保険所、医師会、消防、警察、海上保安庁等、担当者が出席し、万一感染者が出たらどうするか等意見交換されています。本町もこのような協議会に参加したことがありますか。

企画商工観光課長　北部のほうも沖縄県クルーズ船受け入れ北部地域協議会があり、話し合いをもって受け入れています。

崎浜議員　クルーズ船に燃料、水補給とかやったことがありますか。

建設課長　平成十五から令和四年六月まで、二十四回入港があり、そのうち六回給水をしています。

崎浜議員　給水容量は何トンぐらいか、また、料金にしてどのくらいですか。

上下水道課長　二五〇トンの給水要望が一度ありました。料金は6万6千円程度です。

2．本町の自殺者の状況と、対策は？

崎浜議員　次に、本町の自殺者の状況と、その対策について伺います。

平良町長　自殺対策計画を令和4年3月に策定しています。本計画によって自殺予防に関する住民への支援を実施しているところであります。これまで保健師による家庭訪問や町内の全中学校での後援会など実施しているところであり、今後は社会人向けの個別相談会や町内全域を対象に広報活動を行うなど、自殺予防に関する普及かつ啓蒙を図っていく予定です。

崎浜議員　本町も自殺者が結構多いです。このようなことはなかなか表に出てこないです。孤立して、精神的に苦しんでどうすることもできなくて、亡くなっていく方がいる中で、本町としても真剣に考えなければいけない時代に入ったのではないかと思います。本町として相談窓口は設けていますか。

福祉課長　福祉課が窓口になっています。それ以外にも県が主体となっているパーソナルサポートセンターですとか。どちらにも相談できる体制はとっています。

崎浜議員　相談窓口を設けたとしても、相談を受ける方に対応能力がなければ効果がありません。そういった専門の方の育成はどのように考えていますか。

福祉課長　対策として若年者向けの講演会ですとか、個別相談等も臨床心理士と共に連携も取っています。今年度も年明けに相談会を予定しています。

崎浜議員　本町として、今年の3月に作成したということで、緒に就いたところだと思います。これからは皆で声なき声を拾えるかどうかは、やってみなきゃわかりませんが、カウンセリングする方々を養成しながら、意識を高めながら、取り組んでいけたらと思っています。

1. 本部町物流センターについて（冷凍冷蔵庫）
2. 本部町学校給食について

一般質問

松田 大輔 議員

1. 本部町物流センターについて（冷凍冷蔵庫）

松田議員　①運用開始されてからの利用状況を伺います。②冷凍冷蔵庫の増設は可能か伺います。

町長　運用開始されてから今日までの利用状況を見てみますと、毎年11月頃に倉庫の使用率が１１０％まで上がっております。そして８月頃になりますと70％程度まで下がっております。毎年このような形にて状況は推移しております。令和３年度の１年間における利用状況といたしましては、総入庫量が９、９６２トン、総出庫量が１万１０９トン、在庫量が１、９６９トン、３月末の倉庫使用率を見ますと94％となっております。次に冷凍冷蔵庫の増設についてでありますけれども、現在、本部町物流センターのほか、北部地域においては、今帰仁村においても整備されている状況であります。本町における物流の状況を注意深く見ながら、注視しながら、冷凍冷蔵庫の増設が必要があれば検討するというようなことでございます。

松田議員　冷凍冷蔵庫の効率的な運用は70％から80％の使用率が効率的に昨今としては適正ということでお聞きしていますけれども、そのあたりはいかがでしょうか。

企画商工観光課長　令和３年度ですね、平均で94％ということであります。平均的に70％、80％が適正なのか、管理者とも詰めないといけません。

松田議員　いずれにしてもかなり利用されているというところで、今帰仁村においても冷凍施設が整備されるということですが、港としての規模であったりとか、物流の拠点になり得るのは本部町だと思っております。その中で今帰仁村にできて、どの程度の使用率になるか分かりませんけれども、利用状況を見極めながら本町に一時保管して、ストックができて物流の拠点になるのは有益なことだと思いますので、生産者に対してもうれしいことだと思います。

町長　結論から言いますけど、本町としては増設の考えはございません。町内で生産される物につきましては、全量この冷蔵庫に収まります。名護からもかなりの物をうちが預っている現状にあります。できれば別の市町村が冷凍冷蔵庫をこしらえて、本部港を中心として、県外へ運ぶというようなシステムができればいいなと思っております。

2. 本部町学校給食について

松田議員　現在、日本国内において物価の上昇が見られますが、本町の学校給食に影響がないか伺います。

教育長　学校給食の賄い材料費に物価上昇の影響はございます。平成30年度は約６９００万円、令和４年度予算においては約７９００万円と約１０００万円の増額となっております。

松田議員　物価上昇の影響はあるということで、今回の質問に至った経緯ですけれども、牛乳が変わったとか味が落ちたんじゃないか、という意見がありました。物価上昇の影響で、全額を抑える為に商品を変えているのか伺います。

教育委員会事務局長　学校給食におきましては、児童生徒の給食を取ることによってのカロリーなり、接種基準が設けられておりまして、それを落とす事はできません。当然ながら、食料費が上がったとしても基準にクリアするような予算措置をし、しっかり提供すると。

松田議員　私もニュース等の情報で、物価高の影響で栄養士さんが、その決まった栄養価を満たす為に、今ある予算の中で栄養価を賄う材料を用意するのが難しい、そういう記事も見かけました。作る方も一生懸命に予算の範囲で頑張っていると思いますが、当初の予算どおり行くとオーバーするはずです。子供達の栄養価を賄って、十分に満足いく食事が取れるように予算の補正であったり、作り手側に負担を与えないような対策等は考えているのか伺います。

町長　物価上昇によって学校給食の質的な部分について絶対に落としてはいけないとそう考えております。上昇分については、別の側面でカバーをしながら、可能な限り、地元の新鮮で食味のいいものを提供するというのが我々の基本的な考え方であります。

1. 本町の外灯設置状況
2. 高齢者等みまもり支援事業の実施について
3. 本町の不登校の現状について

一般質問

具志堅 勉 議員

1. 本町の外灯設置状況

具志堅議員　一、本町の外灯設置状況①直近5年間の各字からの要請状況を伺います。

町長　平成30年から令和4年までの間に3件の防犯灯の設置要請がございました。

具志堅議員　②タイワンハブが多く出没する字への多めの街灯設置は可能か伺います。

町長　街灯設置は各行政区が主体となり、必要箇所に整備している所でございます。設置に関する費用につきましては、安心安全な地域づくり事業及び心豊かな我がまちづくり推進事業の補助金を活用し、街灯を設置して頂いている所であります。

総務課長　防犯灯の設置状況を説明させてください。平成29年度に国庫補助が受けられる事業がありましたので、その時に各行政区に対しまして、必要な箇所を要望調査いたしました。その時に125箇所、町内全域で必要だと各区長から回答を得ていました。その補助の範囲内で65基設置する事が可能でありました。残り60基は、その平成29年度は設置を見送った状況があります。それを受けまして、どうにか町として設置できないかという事で、先ほど町長が述べました安心安全な補助金、そして心豊かな推進事業の補助金、これ全部単費になりますけれども、そちらで設置するように取り組んでいる所であります。その後、その事業を活用しまして146基設置ができました。なので平成29年度に残った60基も全てカバー致しても146基、それ以降もやっておりますので、合計この5年程度で211基の防犯灯を設置している所であります。

具志堅議員　③街灯設置を行う際の、手続き上の本町の関わりが出来るかどうか伺います。例えば、沖縄電力への許可や地主の許可木の伐採の許可等です。

総務課長　まず地主が最優先になりますので、地主の許可を得ないと役場も手を付けられない状況であります。例えば地主の所に一緒にいってお願いします。等々の協力は当然役場として可能でありますけれども、最終的な判断はどうしても地主になってしまうという事です。

2. 高齢者等みまもり支援事業の実施について

具志堅議員　二、高齢者等みまもり支援事業の実施について。本町の一人暮らしの高齢者の数を伺います。

町長　本町では令和4年10月1日現在で、65歳以上の独居の方が1545人いらっしゃいます。なお、世帯分離や入院入所中の方々なども含まれています。

具志堅議員　私は以前に緊急通報システムは導入出来ないかという事で要望した事があります。今回も又、高齢者みまもり支援事業のシステムを導入していくかどうか伺います。おきでんプラス1の県内12市町村が行っている実証事業も参考にして頂きたいと考えています。

福祉課長　高齢者みまもり事業というのは大変重要なツールだとは思います。実証実験を踏まえ、個人負担等経済的な面も考慮しながら、今後導入についても検討していきたい思います。

3. 本町の不登校の現状について

具志堅議員　三、本町の不登校の現状について。①小学校から中学校までの各学年別の詳細を伺います。

教育長　令和4年11月1日時点において、町内の小学校では1年生3名、2年生2名、3年生1名、4年生が0、5年生3名、6年生2名となっております。中学校につきましては、1年生2名、2年生6名、3年生4名となっております。まとめますと、小学校では合計11名中学校では合計12名の生徒となっております。

具志堅議員　②不登校の児童生徒への対応方法について伺います。

教育長　学校支援として、電話連絡、家庭訪問、ケース会議、専門職の活用、オンライン授業、ICT活用、それから支援機関との連携、学習課題の配布等となっております。

具志堅議員　③不登校の児童生徒への専門的相談員は配置しているのか伺います。

教育長　教育委員会にはスクールカウンセラー1名、スクールソーシャルワーカー2名、それから国頭教育事務所からも専門職2名が巡回配置され、不登校をはじめ、課題のある児童生徒及び家庭へのカウンセリング等の支援を行っております。不登校に関しては未然防止、それから初期対応が大事だと考えています。

具志堅議員　学校や行政、地域、それから私達民間人も共に子供達の成長のためにサポートしていきましょう。

1. 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル調査について
2. 来年の祭りや行事等の積極的な開催について
3. 国立沖縄自然史博物館の誘致について
4. 屋根付きバス停設置について

一般質問

山川 竜 議員

1. 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル調査について

山川議員　4月から電気料金が値上げされるという報道があった。役場庁舎や公共施設の負担はどのくらい増えるか伺う。

町長　沖縄電力が申請している高圧電力の値上げ率46・8％がそのまま認められた場合には、令和5年度には年間4000万円前後の負担増になる見込みである。

山川議員　太陽光発電導入調査も検討すべきではないか。今後の施策を伺う。

総務課長　班長職を中心に役場が管理している施設含め、学校等、指定管理施設も含め、LED化を検討している。また、上本部学園と本部小学校に太陽光発電の設置を進めており、3月に完成し、8月から供用開始ということで進めている。その効果を見まして、公共施設への今後の再生可能エネルギー設置を検討するところである。

2. 来年の祭りや行事等の積極的な開催について

山川議員　来年のイベントを積極的に開催し、地域活性化のきっかけとすべきと考えるが見解を伺う。

町長　八重岳桜まつりをはじめ、新緑まつりや海洋まつりなど積極的に開催し、地域経済の活性化を図ってまいりたい。また、地域住民が主体的に開催するクメノサクラ祭りやアジサイ祭り、ベゴニヤ祭りなども積極的に支援をし、経済の活性化に向けて促進してまいりたい。

山川議員　コロナ禍で中止になっている海洋博花火大会ですが、来年こそは経済活性化の希望の光となってほしい。海洋博の花火大会について、美ら島財団に要請して、開催を後押しして頂きたいのですが見解を伺う。

町長　一大ビックイベントですよね。私も財団の理事ですから、理事長とも議論しながら、開催に向けて動こうと考えている。

3. 国立沖縄自然史博物館の誘致について

山川議員　設立意義や設立による効果について伺う。

町長　自然史標本の収集や保管、自然史科学の研究など研究成果の展示等が行われ、極めて意義深い。設立の効果は、アジア唯一の国立自然史博物館として、アジア全体の自然史科学を支える研究及び人材育成の拠点になることが期待されている。また、アジアから見た沖縄の魅力強化の大きな契機になると考えている。

山川議員　経済波及効果を伺う。

副町長　県の環境部自然保護課が2019年3月に調査した報告書によると、国立沖縄自然史博物館を建設した場合の経済効果は、建設費用423億円。経済効果だとそれの倍だという試算がでている。運営には経済波及効果は112億円という試算が出ている。

山川議員　教育面での効果を伺う。

教育長　国立自然史博物館があることによって、地元の子供たちに科学的な研究分野の向上、恩納村の大学院大学との連携や、やんばる世界遺産との連携、アジアの標本を集めるわけですから、アジアからの教育旅行にも繋がり国際交流という意味でも、様々な教育効果が出てくるだろう。

山川議員　沖縄県に誘致が決まるよう、本町としても機運の醸成を図る取り組みとして、情報発信をして頂きたいと思うが見解を伺う。

企画商工観光課　町の情報媒体を活用して住民のほうに情報提供を行っていきたい。

4. 屋根付きバス停設置について

山川議員　町内のバス停において、夏場は暑い中、雨の日は傘をさして、バスを待っている光景を目にする。高速バスが停まる町立博物館前と本部高校前は、地元住民や観光客が利用するバス停となっており、屋根付きバス停の設置の必要性について、町民からも声が上がっている。計画はあるか伺う。

町長　所管する北部土木事務所に確認した所、計画は策定されていない。本町としても、博物館前、本部高校前、海洋博公園前など多くの地元住民や観光客が利用するバス停は、屋根設置が必要であると考えている。北部土木事務所へ要請を行っていきたい。

山川議員　県道84号線沿いでも、例えば、東のバス停など高校生がバスを待っている光景をよく目にする。県道84号線沿いの整備事業に含めて、屋根付きバス停の整備を県に要請できないか。

企画商工観光課長　県道84号線、今改良の真っ最中であるので、土木事務所のほうに要請をしていきたい。

1. 瀬底小学校体育館改修の早期実施について
2. 瀬底一周線道路の危険箇所の改善について
3. もとぶ観光地クリーンアップ事業等について

一般質問

仲程 清 議員

1. 瀬底小学校体育館改修の早期実施について

仲程議員　単費を投入してでも早期改修を行うべきだと考えるが当局の見解を伺う。

教育長　九月定例議会終了後に、教育委員会として実際に屋根の全面改修費がどの程度必要なのかを把握するため、業者を含めて再度現地調査を行い、屋根の全面改修工事費の見積もりをお願いしているところであります。見積もりが届きましたら財政当局と単費投入が可能かどうかを含めて、早急に意見交換を行っていきたいと考えております。

仲程議員　六月の定例議会の一般質問での当局の回答では令和五年に実施設計に入り令和七年には共用開始の見込みとしているが、大丈夫か。

教育委員会事務局長　六月定例議会後にも県に我々の現状を説明させていただきました。来月にはまた県のヒアリングが予定されていますので、その際にも、県の計画の中に、改修を乗せることをお願いしながら、計画の実施に乗せることができれば、令和五年度に予算を投入して設計をいれて、早ければ令和六年度に工事着手、但し、全体を調整した上での話ですので、これが先送りになる可能性もあり得るものだと考えております。

仲程議員　平成二九年に雨漏りが始まり翌年度から一部改修工事を行なうが五年を経た現在までその原因が特定できない、それから先もその様な環境下に置かれる子供たちのストレスを考えると、我々は強い思いをもってこれの改善に当たるべきだと思う、単費を投入してでも早急に改善すべきだと思うが町長の見解を伺う。

町長　目下、どれぐらいの予算があれば対応できるのか、教育委員会のほうで調査に入っているといゆうことでございます。ついては金額によりますでしょうから、その辺の結果がでたときに、また内部で議論しながら検討することになろうかと思っております。

2. 瀬底一周線道路の危険箇所の改善について

仲程議員　一周線道路の開通により一層利便性の向上に繋がっております。一方、観光客の利用車両をはじめ、交通量の増加に伴い危険個所が増えております。特に今回改善を求める箇所（写真で説明）については区内外から区長に対しての改善要望も多いと聞いている。早急な改善を求める。又、町内道路反射鏡の年間設置台数、及び年間予算についても伺う。

総務課長　写真の表のほうの県道と町道が交差するところへのカーブミラーの設置はどうなっているかといゆうことでございますけども、今年は予算を一二〇万円確保しておりまして、例年四基から五基設置可能でありますが今年は調査が終わっていまして、今のところ決まっているのが、瀬底、大浜、新里にそれぞれ一基、あと一基から二基程度は更に精査が必要といゆうことで、今保留している段階ですけども、決まっている瀬底の箇所が仲程議員から今回質問のありました箇所に設置を、年明けの一月から作業に入ります。

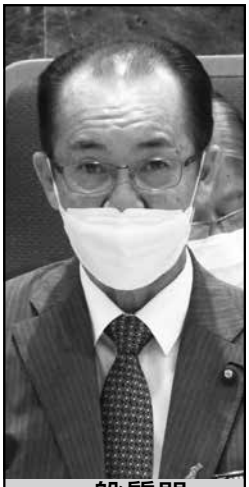
建設課長　写真にあるホテル側からのコーナーですが、これは、前にも質問があったときに私たちのほうでも現場を確認して、ポールコーンを設置することを検討しています、予算がつき次第早急に対応したいと思います。

3. もとぶ観光地クリーンアップ事業等について

仲程議員　①観光地の定義は？事業の対象となる観光地は何箇所？②県道、国道沿いのクリーンアップに対する観光機関への要請は？③農道、部落内のクリーンアップは？

町長　一点目の観光地の定義でありますけども、歴史・文化・自然景観などの遊覧施設が整備されており、かつ交通機関や宿泊施設など観光客を受け入れられる地域を観光地として定義されております。クリーンアップ事業の対象となる地域は、町全体がテーマパークであるとの認識の下に、広い意味では町全体が対象となるものと考えております。二点目の町内の県道、国道沿いのクリーンアップですが所管する沖縄県北部土木事務所に対し、毎年のこと、要請を行っているところであります。三点目の農道、集落内道路のクリーンアップについては、従来どおり、地域住民の皆様でのクリーンアップ活動を通しながら、その対応をお願いしているところでございます。

1. 町長の所信の中から町内まるごとテーマパーク構想について
2. 持続可能な農業生産基盤の確立について



一般質問

座間味 栄純 議員

1. 町長の所信の中から町内まるごとテーマパーク構想について

座間味議員　八重岳山頂の希少な動物の保護観察学習の場所と位置づけ、町民及び観光客など様々な人たちが交流する自然を生かしたエリアとして引き続き、県文化財課と史跡名勝天然記念物の活用について調整していくとあります。その中から先日、国内初の国立沖縄自然史博物館の誘致シンポジウムがありました。今後本部町としてどのような誘致活動をしていくのか見解を伺います。

町長　国立自然史博物館はアジア全体の自然史科学を支える研究及び人材育成の拠点となる事が大きく期待されています。また沖縄県への誘致が実現した時にはアジア地域及び全世界に対して大きく貢献するものと考えております。このような事から一般社団法人国立設立準備委員会及び沖縄県並びに関係市町村としっかりと連携をしながら、本県への誘致に向けて、その機運の醸成を図っていきたいと考えております。現状の所わが町が特別に突き抜けてこうするといった事というより、しっかりと他の市町村、沖縄県、関係する全ての皆さんと歩調を合わせながら、エネルギーを県民全体で結集して行くというのが今の状況ではないだろうかと考えております。

座間味議員　八重岳周辺を活用した町営パークゴルフ場の誘致が出来ないかを伺います。

町長　八重岳周辺は史跡名勝天然記念物に指定されております。沖縄県文化課と調整している所で御座います。けれどもキャンプ場やパークゴルフ場等の誘致施設の整備する事につきましては、その性質上、現在の所難色を示している所で御座います。しかし社会教育施設として自然観察施設などにつきましては検討出来るといゆう事で、そのような回答を現在しております。今後、八重岳周辺につきましては、希少な動植物の保護、観察、学習環境の場所として位置づけながら、自然を活かしたエリアとして検討して参りたいと考えております。

2. 持続可能な農業生産基盤の確立について

座間味議員　持続可能な農業生産基盤確立について本部町の取り組み状況を伺います。

町長　作物生産に必要不可欠な農業生産資材につきましては国際状況の影響により、価格が高騰しており農業経営を圧迫している現状で御座います。本部町といたしましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、肥料価格の高騰に対する支援策として堆肥の配布を12月12日より開始した所であります。また飼料価格高騰に対する支援策につきましても新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用いたしまして、畜産農家経営支援事業補助金を事業立ていたしまして、支援策を用意している所で御座います。

座間味議員　これまでの堆肥支援策の実績について伺います。

農林水産課長　実績としまして、令和2年度の対象者が449名、肥料の袋数は2万5100袋。令和3年度の実績は363名に対し肥料の袋数が、2万3150袋、寄附しております。今回改めて、実は既に堆肥券を発送しておりますが、今回予定としまして2万3700袋を予定しております。

座間味議員　畜産農家への支援策の実績について伺います。

農林水産課長　今回、飼料価格高騰に伴いまして、本町としましては、畜産業の方々に母牛1頭に対して1万円の支給をするといゆう事で準備をしております。その頭数が529頭・農家数で言うと12農家で御座います。

座間味議員　辺名地地区の元のガラスリサイクル工場跡地に堆肥再生事業の進捗状況について伺います。

農林水産課長　今年度は、機会の整備に入っておりまして、ホイールローダー、ダンプトラック、マルチチッパー等の整備をしております。この整備が終わった後に近くにアグー農業がありますので、そこから搬出される汚泥等を利用して今後、堆肥を作っていく予定であります。数量につきましてはこれからですが、組合員だけではなくて、出来るだけ町内の農家にも配布出来るようなシステム作りが出来ればと考えております。

1. 旧上本部中学校跡地について
2. 死亡手続きの一元化について

一般質問
具志堅 正英 議員

1. 旧上本部中学校跡地について

具志堅議員　旧上本部中学校跡地は、地域住民の声を聞いて整備するとしていましたが、地域住民の声や具体的な要望は聞いているか伺います。

教育長　旧上本部中学校跡地は、上本部学園の第2施設として管理しております。整備等に関しては、地域住民の声や要望は聞いておりません。

具志堅議員　旧上本部中学校跡地は草や木が生えて、地域住民ＯＢから学校跡地としては見苦しいと苦情があります。このまま放置するのか伺います。

教育長　校舎跡地、グラウンド周辺、正門付近において、草木の繁茂は確認しております。

上本部学園の第2施設ということもあり、学校側による管理となっております。今後は、教育委員会と上本部学園とで調整を行い、草刈り等の環境整備を行いたいと考えております。

具志堅議員　本町は、この跡地を整備する計画があるか伺います。

教育長　教育委員会としましては、現在のところ具体的な整備計画は検討しておりません。

具志堅議員　学校側のほうも、草刈りはしたいけれども職員の手が足りない、道具がない草刈り機もない状況です。学校施設として見苦しくないように、地域の皆さんと協力して草刈りをすれば、結構整備されると思いますので、その辺もぜひ検討していただきたいと思います。

教育委員会事務局長　学校側も、手が回らないということですので教育委員会としても早急に、学園側と調整が必要ですので、早めに対応できるように調整していきたいと思います。

具志堅議員　体育館を行政区の公民館として使用したいという要望があるようですが、役場はどのように考えているか伺います。

教育委員会事務局長　行政区のほうから、その申し入れがありましたが、いろいろ調べているところではちょっと難しい状況になっております。引き続き、いろいろな制度が使えるものであれば検討していきたいと思っています。

具志堅議員　最後に災害用、防災用のコンテナですけれども、災害時に防災備品を出して使うわけですから、人が出入りしやすいように管理しておかないと、この辺、どう考えているか伺います。

総務課長　上本部学園の第2体育館は、避難所の施設指定になっておりますので、あちらには必ず備蓄層化が必要だと思っています。私たちも教育委員会と連携しながら、災害時には、すぐ取り出せるように、草刈り等の整備は協力したいと思っています。

2. 死亡手続きの一元化について

具志堅議員　死亡手続きの一元化について、①死亡手続きについて伺います。②火葬・葬祭時の手続きについて伺います。③遺族の役場での手続きについて伺います。

町長　①医師等の死亡診断書を住民課に届出をする。担当窓口で届出をする。『各種手続きの案内用紙』を配布する②本町では、墓地、埋葬等に関する法律に基づき埋葬、火葬の許可を行っております。まず住民課で死亡届けを受理し、その後、健康づくり推進課で死体火葬許可証を発行し、火葬を執り行います。③健康づくり推進課においては国民健康保険や後期高齢者医療保険等の資格喪失の手続きを行います。福祉課では、国民年金や介護保険、障害手帳に関する手続きを行います。子育て支援課では、母子父子医療費助成や児童扶養手当に関する手続きを行います。上下水道課では、水道名義の変更に関する手続きを行います。また建設課では、町営住宅の手続き、農林水産課では農地などの名義人の手続き、住民課では、土地や家屋等の手続きを行うことになっております。具志堅議員、よく理解できますよね。そういうことでございます。

1. ハブ咬傷被害を拡大させないために

一般質問

仲宗根 須磨子 議員

1．ハブ咬傷被害を拡大させないために

仲宗根議員　先月、中学生が町営市場の近くでハブにかまれる事故があった。日頃から沖縄県では「ハブに気を付けよう！」と個人の注意喚起を促しているが、今やアスファルトの路上やコンクリートの建物にもタイワンハブが出没する状態である。特に外来種であるタイワンハブの駆除は琉球列島の生態系を守るという意味でも早急な対策が必要である。ハブ類から町民の安全な暮らしを守るために町当局が取り組んでいることを伺う。

町長　本町では平成25年から一括交付金を活用してハブ咬傷防止事業というのを立ち上げ実施しているところである。令和4年で事業開始から10年目になるが、タイワンハブの捕獲数、事業費ともに年々増加を続けている。令和3年度は過去最高の1430匹を捕獲している。これまで750器の捕獲器を町内全体に設置し、6名の捕獲作業員で常時対応している。さらに今年度はハブの餌となるマウス（ハツカネズミ）の増殖をするための施設も増設し、事業の強化拡大を図っている。

仲宗根議員　今回は被害に遭った生徒は既に退院して学校に戻っているということで、大事に至らないケースで、よかったと思う。今やハブ類、特にタイワンハブは町民の生活圏内に入り込んできている状況だ。目撃情報の例をあげると、昼間に、伊野波の平良県議の事務所の入口付近で、早朝に新聞配達員が道の真ん中で、とぐろを巻いているのに遭遇。私自身も小雨の降る昼下がり、大浜のアスファルトの路上で車で走行中に目撃。また本部郵便局の近くでも捕獲したということを聞いている。その他、伊豆味区や並里区でも目撃情報が多い。タイワンハブはすでに私達の生活圏内に入り込んで来ている。特に子供達の安全のために、ぜひ学校の方で遭遇したら、どう対処すればいいか、そういうことをレクチャーする機会をつくっていただきたい。

教育長　実際に生徒がハブの咬傷被害に遭って、町内のあちこちで身近に出没しているという情報を聞くと、これは学校としても対処法を生徒にレクチャーしていくという準備が必要かと思う。学校と連携しながらやっていきたい。

健康づくり推進課長　一括交付金を使って駆除に力を入れているが、今後は広報誌やホームページで、よりいっそう周知に力を入れていきたい。個人では各家まわりの草刈りを、各区では公共の場の清掃等を、みんなで地域をきれいにしてタイワンハブ等を侵入させないような取り組みを、率先してやっていきたい。

仲宗根議員　ハブ注意の立て看板や捕獲器の設置等の他にも、沿道の草刈り等が、ハブ類を生活圏内に呼び込まないための大事な作業になってくるのではないか。本部観光地クリーンアップ事業の成果だと思うが、町道や伊豆味線などの県道が、雑草が刈り取られてきれいになっている。そこがきれいになればなる程、国道449号線の見苦しさが際立っている。タイワンハブは、ハブの1・1倍の毒があり被害に遭った場合には命取りになるような事もあるかも知れない。健康づくり推進課長がおっしゃったように町は今すぐ町ができることに精一杯取り組んでいってほしい。それと同時に「もとぶ観光地クリーンアップ事業」で町内をどんどんきれいにしていく、この事業を立ち上げた本部町長だからこそ、県に対してタイワンハブ駆除のために早く動いてくれと強く要請することができると思う。

町長　今朝8時半になると同時に北部土木事務所の所長に電話を入れた。早急に草の対策について、ハブとの関連の中でも別の角度からその重要性を訴えていきたい。年内にもう一回足を運んで、そういう議論をしていきたい。ハブの対策の手法がどんどん増殖していくタイワンハブの現状に合っていないと感じる。タイワンハブの生態や効率的な捕獲対応の手法を専門的に、集中的にやる部署が現在ない。だから生態系、生物多様性というものを乱すという部分で、相当痛手を被るという懸念がある。しっかり行政という形で、県の環境部長に対して、ハブ対策を専門的に研究する部署をつくるぐらいの気持ちで、真剣に、深刻に捉えてほしいと議論を展開していきたい。北部だけじゃなく、沖縄全体の問題ですよと。

令和4年 第6回本部町議会臨時会（11月）審議案件一覧

議案番号	件　　名	議決の結果
議案第43号	動産の買入れ契約の締結について（本部町基盤ネットワーク整備事業）	原案可決
議案第44号	動産の買入れ契約の締結について（ダンプトラック購入）	原案可決
議案第45号	動産の買入れ契約の締結について（ホイールローダー購入）	原案可決
議案第46号	令和４年度本部町一般会計補正予算について	原案可決

令和4年 第7回本部町議会定例会（12月）審議案件一覧

議案番号	件　　名	議決の結果
議案第47号	沖縄県北部医療組合の設立について	原案可決
議案第48号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第49号	動産の買入れ契約の締結について（本部町学校給食共同調理場改築備品購入）	原案可決
議案第50号	工事請負契約の締結について（本部町学校給食共同調理場改築工事（建築））	原案可決
議案第51号	工事請負契約の締結について（本部町学校給食共同調理場改築工事（電気））	原案可決
議案第52号	工事請負契約の締結について（本部町学校給食共同調理場改築工事（機械））	原案可決
議案第53号	令和4年度本部町一般会計補正予算について	原案可決
議案第54号	令和4年度本部町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第55号	令和4年度本部町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第56号	令和4年度本部町公共下水道特別会計補正予算について	原案可決
議案第57号	令和4年度本部町水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第58号	副町長の選任同意について	同意

沖縄県町村議会議員研修会

沖縄県町村議会・事務局職員研修会

令和5年2月15日、沖縄県町村議会・事務局職員研修会がパシフィックホテル沖縄にて行われました。研修会では、沖縄県企画部市町村課課長の森田賢氏より市町村行財税制等の状況、農水省認定6次産業化ボランタリープランナーの加力謙一氏より沖縄農業の課題と解決提案の講演がありました。

議会傍聴へ行こう!!

本部町議会は3月、6月、9月、12月と年4回の定例議会が開催されます。

※議会の傍聴希望について、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、体温の測定により37.5度以上の発熱がない事、咳、鼻水、強いだるさや息苦しさがない事を確認のうえで、手指の消毒、マスクを着用し傍聴する様、お願いします。
また、今後の感染症流行の動向を注視しながら、慎重に判断し、議会傍聴を制限する場合がございますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

ひとりひとりの心がけが大切な人の命を守ります

お問い合わせは議会事務局まで　電話 0980-47-2651

編集後記

日ごとに暖かさを増し、春めいてきました今日この頃、町民の皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。季節の変わり目で昼夜の温度差が激しい日もありますので、くれぐれも体調管理にはお気をつけ下さい。さて、今年は桜まつりも通常開催することができ、いよいよ新型コロナウイルスも下火になると期待しております。ここ数年、お祭りや行事ごとも思いきりに開催できない中で、多くの方と交流することも出来ず、個人的にとても寂しく思っておりました。令和5年度は、様々な催し物が行われると思いますので、町民の皆様方で本町を活気づけていきましょう。

議会広報委員
松田　大輔

もとぶ議会だより
ハイサイ 第133号
発行　本部町議会
編集　本部町議会広報調査特別委員会

発行・編集　本部町議会広報調査特別委員会　〒905-0292 沖縄県国頭郡本部町字東5番地　TEL:0980-47-2651
印刷　光文堂コミュニケーションズ株式会社